

令和5年度 南条小学校スクールプラン



南越前町教育方針

- イ 心を育てる教育
- ロ 確かな学力の向上
- ハ 健康・体力の増進と食育の推進
- ニ 生徒指導の充実
- ホ 進路指導の充実
- ヘ 教員の資質向上
- ト 子どもの安全確保
- チ 学校の安全管理
- リ 開かれた学校

【教育目標】
 ともに学び、豊かな心で未来を切り拓く子の育成
 「認め合い・助け合い・高め合い・響き合う」

教師の願い

進んで学ぶ子
 (課題追求、思考力、想像力、判断力、表現力、個性尊重)

思いやりのある子
 (明朗、誠意、感謝、人間尊重)

力いっぱいやりぬく子
 (基本的生活習慣、食習慣、健康、実践力、協働、勤労)

【目指す児童像】
 進んで学ぶ子 思いやりのある子 力いっぱいやりぬく子

**【研究主題】 自らの個性を発揮し、ともに学び合う子どもの育成
 ～言語活動を通して、主体的に思考し表現する授業づくり～**

重点目標

<p>1. 確かな学力</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎基礎基本の定着 ○わかる喜びを引き出す授業づくり ○家庭学習の習慣化 ○読書活動の充実 	<p>2. 豊かな心</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎道徳教育・人権教育の充実 ○心豊かな人づくり ○児童の主体的活動の支援 	<p>3. 健やかな体</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎基本的生活習慣の育成 「早寝、早起き、朝ご飯」 「十分な睡眠時間の確保」 ○健康教育・食育の推進 ○安全教育・防災教育の充実 	<p>4. コミュニケーション力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○傾聴「良い聴き方」 ○伝達力の向上「良い話し方」 ○対話を通じた知識や思考の拡張・深化 	<p>5. 開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域・関係機関との連携 ○積極的な情報発信 ○ボランティアとの協働 ○地域と連携したふるさと教育
--	--	--	--	--

具体的な取組

<p>ア)学習前の準備をしっかり整え、学習に向かわせる。(準備物・時間等) 【児・教 85%】</p> <p>イ)『家庭学習のすすめ』を配布し、学年に応じた家庭学習の習慣を確立する。 【児・教 90%】</p> <p>ウ)言語活動を通して、主体的に思考し表現する授業づくりに取り組む。 【教 90%】</p> <p>エ)学びを楽しむ教育を推進するため、タブレット端末や電子黒板等のICT機器を効果的に活用する。 【教 90%】</p> <p>オ)朝読書や週末読書等に積極的に取り組むとともに、学年に応じた読書習慣を身に付けさせる。 【児・保 80%】</p>	<p>ア)道徳教育や人権教育を核とし、学校生活全体で、他を思いやる心、仲間と協力し合う心を育てる。 【児・教 80%】</p> <p>イ)一人一人の長所を認め合い、個性を引き出すことで自己肯定感や自己有用感を高め、自分がかけがえのない存在であることに気付かせる。 【児・教 80%】</p> <p>ウ)自ら進んで挨拶したり、「ありがとう」や「ごめんなさい」を自然に言ったりすることができる子を育てる。 【児・教・保 80%】</p> <p>エ)教育相談活動や特別支援教育を充実させる。 【児・教 80%】</p>	<p>ア)保健指導や給食指導を通して、家庭との連携を図りながら、望ましい生活習慣を育成し、感染症対策等の健康に対する意識を高める。 【児・教・保 80%】</p> <p>イ)食に関する指導を、給食時や他教科と関連させるなど工夫を行い、食の大切さについての理解を深める。 【児・教 80%】</p> <p>ウ)安全教育や防災教育を通して、自他の安全意識を高める。 【児 80%・教 90%】</p>	<p>ア)児童が互いに聴き合える関係をつくり、話し手を見ながら、耳を傾けてしっかりと話を聴くことができるようにする。 【児 80%】</p> <p>イ)自分の思いや考えを話し合ったり書いたりする場面を多く設定し、伝え合う力を高める。 【教 80%】</p> <p>ウ)互いに考えを出し合い、対話する中で、新たな知識や視野の広がり、深まりが生まれるようにする。 【児 80%】</p>	<p>ア)定期的に学校公開を行うとともに、ICT機器を活用して積極的に情報発信を行う。</p> <p>イ)家庭と連携しながら情報モラル教育を行うとともに、ノーメディア週間を計画的に設定し、取り組む。 【児・教 80%】</p> <p>ウ)郷里を愛する心を育てるためにふるさと教育に取り組み、地域の事を調べたり、地域の人材を積極的に活用したりする。 【児・教 80%】</p> <p>エ)個に応じた指導や支援を行うために、関係機関等と積極的に連携を図る。</p> <p>オ)園・小・中の中での情報交換や交流を行い、連携を深める。</p>
---	--	--	---	---

<業務改善のための取組>

- ・行事や会議等の見直しをさらに進め、統合や精選に努める。
- ・校務支援システムによる事務処理の効率化を図る。
- ・一斉退勤日、退庁目標時刻の徹底に努める。